

**【施策評価調査】**

施策名	5-3-5	読書活動推進とボランティア育成		120	町民一人一人が充実した活力ある人生を過ごせるような読書環境づくりの基礎を形成するため、読書の意義、価値を改めて伝達し、関係機関、ボランティア等との連携を図りながら長期的な読書推進運動を展開していく。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	教育部生涯学習課	担当	図書館担当		生涯学習の支援の柱である図書資料を充実させて、自己学習の基本である読書を促進するとともに、図書館ボランティアを組織し、読書活動の推進と図書館のサービス向上を図る体制を整えます。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化		リーダー	齋藤耕太郎		

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：図書館年間貸出点数(点)	平成16年度実績 514,828点	計画	519,900点	522,000点	525,100点	527,700点	530,300点
		実績	518,989点	509,067点	520,035点		
指標：図書館おはなしボランティア数(人)	平成16年度実活動者数 9人	計画	14人	19人	24人	27人	30人
		実績	7人	21人	21人		
指標：図書館年間貸出冊数(AV資料を除く。)(冊)	平成19年度実績 394,182冊	計画			397,000冊	400,000冊	404,000冊
		実績			407,910冊		
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	32,945,000	33,232,000	32,641,000		
	決算	32,719,583	32,761,227	32,488,212		

**事務事業事後評価 20年度の検証**

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)
図書館整備費	当初 32,311,000	年間貸出点数	A	利用者のニーズに即した、多種多様な資料、新鮮な資料等の迅速な提供を計画的に行えたので、昨年度に比べて、貸出点数、来館数は増加した。
	決算 32,151,152	520035点 / 525,100点		
講座開催費	当初 123,000	講座年間開催回数(2回/月×12か月)	A	・多くの方の来館を促し、読書に親しむことへの第一歩となった。 ・ボランティアの育成により、図書館、学校での読み聞かせ等で児童生徒の読書意欲を高めることができた。 ・おはなし会等の開催で親子のふれあい、乳幼児からの読書習慣づくりに貢献できた。
	決算 133,102	20回 / 24回		
ブックスタート推進事業費	当初 207,000	年間開催回数(ブックスタート1回/月×12か月、はぶばぶおはなし会1回/月×12か月)	A	・絵本を通して、親子のふれあいの機会を増やし、乳児からの読書習慣づくりに貢献できたものと思う。 ・赤ちゃんを持つお母さんが参加することで交流の場も提供できた。
	決算 204,750	24回 / 24回		
	当初			
	決算	/		今後の方向性(自己評価) 今後の方向性(総合評価)

**施策事後評価 20年度の検証**

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
年間貸出点数、講座開催回数は目標値に達しなかったが、図書館職員が協力し、計画的に職務を遂行したので、昨年度に比べ、年間貸出点数が増加し、読書活動推進は概ね良好である。今後も3館が役割を分担し、児童館、保育園、小・中学校との関係を密にし、ボランティア、関係機関との連携を図っていく。	積極的に施策展開されたと評価する。後期計画策定に向け、具体的な事業は終了とするが、指定管理者に移行したことによる、効果については引き続き検証し、今後の図書館サービスのあり方や利用に係る検討は行うこと。	より多くの住民に利用していただき、より計画的な読書活動推進のためには、開館時間、開館日の増加を含めた図書館サービスの向上が必要であり、民間のノウハウの活用が一番の近道だと考えるので、平成22年度からの指定管理者制度の導入に向けて、より質の高い図書館サービスの実現のために、職員全員が協力し、調査研究し、導入準備を進めていく。
総合評価	■ 総合評価 ■ 積極的に施策展開されたと評価する。後期計画策定に向け、具体的な事業は終了とするが、指定管理者に移行したことによる、効果については引き続き検証し、今後の図書館サービスのあり方や利用に係る検討は行うこと。	